

韓国農林畜産食品部プレスリリース（2018年11月29日 14:27）

## 京畿道平沢市、華城市野鳥糞便から H5 型、利川市から H7 鳥インフルエンザ（AI）抗原検出

出典 URL :

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEBSJTJGYmJzJTJGbwWFmcmEIMkY2OCUyRjMxODg5NvUyRmFvdGNsVmlldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJTI2cmdzRW5kZGVtdHlIM0QlMjZiYnNPcGVuV3JkU2VxJTNEJTI2cmdzQmduZGVtdHlIM0QlMjZwYXNzd29vZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4lM0QlMjZyb3clM0QxMCUyNmIzVmllld01pbmUIM0RmYWxzZSUyNnBhZ2UIM0QxJTl2c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

（機械翻訳に基づく仮訳）

□ 農林畜産食品部（長官：イゲホ）は、11月26日に京畿道平沢市（振威川）と華城市（始華湖）で、11月27日に利川市（福河川）で採取した野鳥糞便に対する検査を実施したところ、11月28日に H5 型および H7 型 AI 抗原（3 件）が検出されたと発表した。

\* H5 型：京畿道平沢市、華城市（農林畜産検疫本部で検査）

\* H7 型：京畿道利川市（京畿道動物衛生試験所での検査）

○これにより農林畜産食品部は、AI 緊急行動指針(SOP)により抗原が検出された地点を中心に、

①半径 10km の地域を「野生鳥獣類予察地域」に設定

②地域内の家きん及び愛玩鳥等の予察・検査、移動制御および消毒

③渡り鳥の飛来地と小河川などの近くの農家の防疫強化

④当該自治体に広域噴霧器など防疫車両を総動員して、毎日消毒を行う

など防疫措置を講じた。

※高病原性の有無など最終判定には 3~4 日所要予定